

福岡県医発第699号(地)
平成25年6月5日

各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

HbA1c 検査関係の啓発資料、及び日本糖尿病学会「熊本宣言2013」の
送付について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

先般、日本医師会を通して日本糖尿病学会(以下、同学会)より情報提供がありました HbA1c 検査の表記変更、及び糖尿病治療における HbA1c の血糖コントロール目標の改定に関する啓発資料につきまして、平成25年5月1日付福岡県医発第409号にてお知らせしておりましたが、今般、啓発資料が日本糖尿病学会において作成され、製薬メーカー、企業等を通じて各医療機関等へ直接配布されている旨、別添の通り日本医師会より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

なお、本啓発資料につきましては、同学会が公表している「熊本宣言2013」とともに、日本医師会より直接貴会宛に送付されますので、貴会会員への周知につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

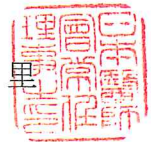
(地Ⅲ51)

平成25年5月21日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事

道 永 麻 里



HbA1c検査関係の啓発資料、及び日本糖尿病学会「熊本宣言2013」の
送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本糖尿病学会より情報提供がありましたHbA1c検査の表記変更、及び糖尿病治療におけるHbA1cの血糖コントロール目標の改訂に関する啓発資料につきましては、平成25年4月23日付（地Ⅲ24）の文書をもって、貴会宛てにお送りさせていただきました。

今般、日本糖尿病学会より啓発資料をいただきましたのでお送りいたします。

本啓発資料については、製薬メーカー企業等を通じて各医療機関等へ直接配布されているとのことであります。

また、同学会では、これまで使用されてきた糖尿病治療における血糖コントロール目標を平成25年6月1日施行予定として改訂することとしており、5月16日に別添のとおり、「熊本宣言2013」を公表しておりますので、参考までにお送りいたします。

つきましては、本会としても日医ニュース等で今後、周知に努めてまいりますが、貴会におかれましても本件についてご承知いただきますとともに、貴会管下郡市区医師会、関係会員等への周知方ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、HbA1c検査関係の啓発資料及び「熊本宣言2013」の資料につきましては、本会より直接郡市区医師会宛てにお送りしておりますことを申し添えます。



[PRESS RELEASE]



—糖尿病学の進化と絆—

2013年5月16日

一般社団法人 日本糖尿病学会
理事長 門脇 孝

第56回日本糖尿病学会年次学術集会
会長 荒木栄一

熊本宣言2013

あなたとあなたの大切な人のために

Keep your A1c below 7%

2013年5月16日(木)、17日(金)、18日(土)の3日間、「糖尿病学の進化と絆」をメインテーマとして、第56回日本糖尿病学会年次学術集会(会長 荒木栄一: 熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科)が熊本で開催されます。

糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに細小血管合併症を引き起こします。また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。糖尿病合併症で苦しむ患者さんの数は今なお減少していません。

糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。日本糖尿病学会は、合併症予防のために、多くの糖尿病患者さんにおける血糖管理目標値をHbA1c 7% 未満とし、より良い血糖管理などを通じて糖尿病の合併症で悩む人々を減らすための努力を惜しまないことを、「熊本宣言2013」に込めて、本学術集会で宣言いたします。

この宣言のもと、我々は糖尿病発症予防に尽力するとともに、最適な糖尿病治療を提供することによって、糖尿病および糖尿病合併症の予防と治療に新しい希望をもたらすべく、挑戦を続けます。

(背景)

「平成19年国民健康・栄養調査」の結果では、「糖尿病が強く疑われる人」は約890万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」は約1,320万人で、両者の合計は約2,210万人にのぼっていました。この両者の合計は、「平成9年糖尿病実態調査」では約1,370万人であり、この10年の間に約800万人増加したことになります。日本人における生活習慣の変化、すなわち食生活の変容や運動不足、そしてその結果引き起こされる内臓脂肪の蓄積や肥満が糖尿病患者数増加の重要な原因であると考えられています。

この状況を鑑みて、平成20年、日本糖尿病学会では糖尿病は予防や治療をすることができると、またその根幹が、健康的な食生活（Diet）と適度な運動（More Exercise）であることを「東京宣言2008」として宣言いたしました。このように日本糖尿病学会は、糖尿病の予防と治療の向上に取り組んでいます。

糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに細小血管合併症を引き起こします。また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。糖尿病による合併症の発症を予防し、また進行を阻止すること、さらには糖尿病患者さんにおいても、健康な人と変わらない日常生活の質（QOL）が維持され、また健康な人と変わらない寿命が確保されることが糖尿病の治療の目的です。しかし、糖尿病網膜症による失明者は年間3,000人以上（新規失明者の約18%）、糖尿病腎症による新規透析導入者は年間16,000人以上（新規透析導入の約44%）、糖尿病足病変による下肢切断者が年間3,000人以上（全切断患者の40～45%）であると報告されており、糖尿病合併症で苦しむ患者さんの数は今なお減少していません。

糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。そのための血糖管理目標値は、年齢、糖尿病であった期間、現在の健康状態、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、患者さんごとに設定する必要があります。昭和62年から平成10年にかけて熊本県で行われた日本人の2型糖尿病患者さんを対象とした熊本スタディにおいて、過去1～2ヶ月の血糖の平均値を反映する臨床検査値であるHbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）が6.9%未満であれば細小血管合併症の出現する可能性が少ないことが報告されています。また諸外国においては、より大規模な臨床研究が行われ、その結果に基づいて合併症予防のための管理目標値として、HbA1c 7%未満を推奨しています。

ここに日本糖尿病学会は、合併症予防のために、多くの糖尿病患者さんにおける血糖管理目標値をHbA1c 7% 未満とし、より良い血糖管理などを通じて糖尿病の合併症で悩む人々を減らすための努力を惜しまないことを宣言いたします。

あなたとあなたの大切な人のために。

STOP the DM -Diet & More Exercise -

そして、

Keep your A1c below 7%

これらを合言葉に、我々は糖尿病発症予防に尽力するとともに、最適な糖尿病治療を提供することによって、糖尿病および糖尿病合併症の予防と治療に新しい希望をもたらすべく、挑戦を続けます。

熊本宣言2013

日本糖尿病学会は、糖尿病の予防と治療の向上に取り組んでいます。

糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに合併症を引き起こします。

また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。

糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。

血糖の平均値を反映するHbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)を7%未満に保ちましょう。

あなたとあなたの大切な人のために

Keep your A1c below 7%

2013年5月16日 熊本にて
第56回日本糖尿病学会年次学術集会
会長 荒木栄一

あなたとあなたの大切な人のために

Keep your
A1c below 7%

<7%

熊本宣言2013



第56回
日本糖尿病学会
年次学術集会

熊本宣言 2013

©2010熊本県くまモン#8897

参考資料

下記の図は、糖尿病治療ガイド2012-2013において掲載される「血糖コントロール目標」の改訂図です。2013年6月1日より、運用開始の予定です。

血糖コントロール目標

コントロール目標値 注4)			
目 標	血糖正常化を 目指す際の目標 注1)	合併症予防 のための目標 注2)	治療強化が 困難な際の目標 注3)
HbA1c (%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は年齢，罹病期間，臓器障害，低血糖の危険性，サポート体制などを考慮して個別に設定する。

- 注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合，または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。
- 注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては，空腹時血糖値130mg/dL未満，食後2時間血糖値180 mg/dL未満をおおよその目安とする。
- 注3) 低血糖などの副作用，その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。
- 注4) いずれも成人に対しての目標値であり，また妊娠例は除くものとする。

《本件に関するお問い合わせ先》

第56回日本糖尿病学会年次学術集会 事務局（担当：西川）

TEL:096-373-5169 FAX:096-366-8397

《取材に関するお問い合わせ先》

第56回日本糖尿病学会年次学術集会 準備室（担当：近藤）

TEL:092-712-6201 FAX:092-712-6262

E-mail:jds56@convention.co.jp

ホームページ:<http://www2.convention.co.jp/jds56/>

＜学術集会期間中＞

学術集会運営本部(2013年5月16日～18日)

ホテル日航熊本

TEL:096-211-1497(本部直通)

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cとは…

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、
糖尿病の診断にも使われます。

HbA1c値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。



特定健診や事業主健診では、2013年4月から新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

昨年まで使われていたHbA1c(JDS)とは、およそ0.4%違うので、ご注意ください。

これまで：JDS 値

2013年4月以降：NGSP 値

例えば **6.1%** $\xrightarrow{+0.4\%}$ **6.5%**